

地域振興策とりまとめ

(目次)

1. 検討方針
2. 関係者ヒアリング
3. 地域振興策メニュー (案)

株式会社建設技術研究所

1. 検討方針

- 令和5年度には、利害関係者へのヒアリング調査結果を踏まえ、地域貢献度が高い地域振興策として、以下の5つの推進プロジェクトをとりまとめた。
- 今年度は、そのうち「地域振興策」「産業振興策」「漁業振興策」それぞれについて具体化のための検討を行っており、本資料では「地域振興策」の検討結果を示す。

推進プロジェクト
(R5年度)

検討方針

洋上風力を活用した
電力地産地消事業

洋上風力に係る
地域産業振興事業

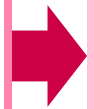
洋上風力に係る
地域PR事業

洋上風力発電
拠点整備事業

洋上風力に係る
漁業協調事業

市内外の主要なプレイヤー候補を対象として、事業実現（参画）の可能性や事業スキームの想定、事業実現に向けた課題・条件、行政への期待などをヒアリング

勉強会に参加した市内事業者の中から今後施工やO&Mに携われる可能性のある事業者を対象として、サプライチェーン構築・参入にあたっての課題や設備投資・人材確保の可能性、課題解決のためのニーズなどを把握をヒアリング



地域振興策メニュー
の具体化に必要な
担い手、事業
を整理

● 資料4にて詳述

● 資料1、資料2にて詳述

1. 検討方針

- 令和5年度の検討成果を踏まえつつ、各推進プロジェクトの実施に向けて主要なプレイヤーになり得る事業者に対してヒアリングを実施。
- 要求される水準や事業を満たす地域振興メニューの具体化を図った。

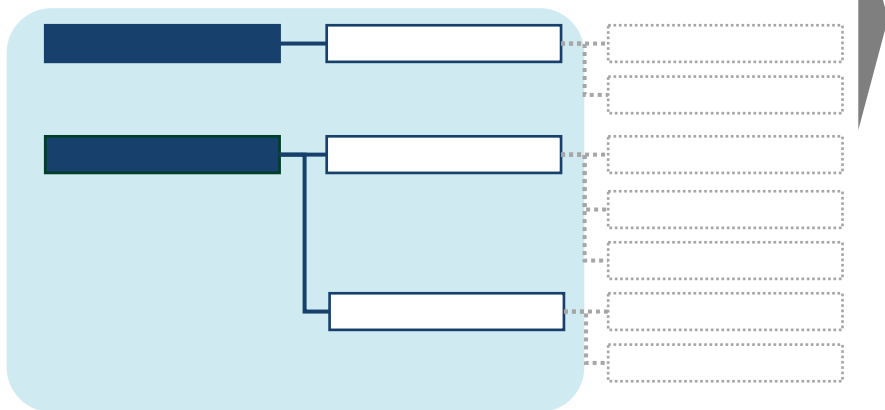
令和5年度

地域の課題やニーズに資する洋上風力発電事業を活用した地域振興に係るプロジェクトの基本的な方向性を整理した。

方向性

メニュー

事業



主要なプレイヤーになり得る事業者ヒアリング調査

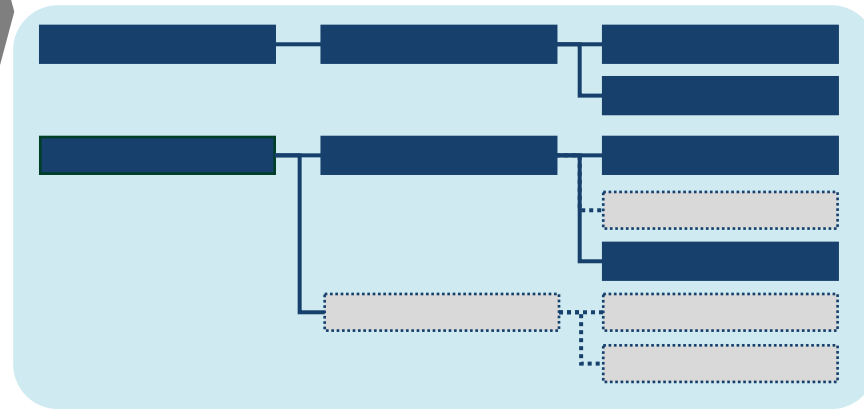
令和6年度

ヒアリング結果を踏まえ、各方向性・メニュー別にブレイクダウンして具体化を図った。

方向性

メニュー

事業



2.関係者ヒアリング

(1) ヒアリング対象者の選定

- 対象とする推進プロジェクトを担うことが期待される市内外の主要なプレイヤー候補を対象にヒアリングを実施した。

ヒアリングテーマ	ヒアリング対象	選定理由
洋上風力を活用した電力地産地消事業	対象A	<ul style="list-style-type: none"> 洋上風力発電事業者。 洋上風力発電の余剰電力等を活用した市内の家庭や事業所に電力供給・消費（地産地消）する仕組みの構築に向けた知見を有しており、具体的な意見交換が可能であると想定。
洋上風力に係る地域産業振興事業	対象B	<ul style="list-style-type: none"> 市内建設事業者。 サプライチェーン勉強会時のアンケート調査の結果、関心が多く得られたサプライチェーンの工程（陸上工事・陸側の風車以外設備の維持管理）において参入の可能性があり。 市内の建設業界全体に精通しているため、一般的な市内事業者に近い意見の収集が可能であると想定。
	対象C	<ul style="list-style-type: none"> 市内電設事業者。 サプライチェーン勉強会時のアンケート調査の結果、関心が多く得られたサプライチェーンの工程（陸上工事・陸側の風車以外設備の維持管理）において参入の可能性があり。 市内の電設業界全体に精通しているため、一般的な市内事業者に近い意見の収集が可能であると想定。
	対象D	<ul style="list-style-type: none"> 市内立地のO&M事業者。 サプライチェーン勉強会時のアンケート調査の結果、関心が多く得られたサプライチェーンの工程（維持管理）において参入の可能性があり。 風力発電のO&M事業全体に精通しているため、一般的な市内事業者に近い意見の収集が可能であると想定。
洋上風力に係る地域PR事業	対象A ※再掲	<ul style="list-style-type: none"> 洋上風力発電事業者。 洋上風力発電を活用した地域PRに関する幅広いシーズを有しており、具体的な意見交換が可能であると想定。
	対象E	<ul style="list-style-type: none"> 観光事業者。 市の観光実態や課題に精通しており、市内の観光特産品協会や各種産業団体とのネットワークを保有していることから、具体的な意見交換が可能であると想定。
	対象F	<ul style="list-style-type: none"> 市内宿泊事業者。 市内で宿泊型観光サービスを提供提供する料理に市内食材・特産品を利用するなど、観光振興のためのプロモーションの実績を保有、具体的な意見交換が可能であると想定。

2.関係者ヒアリング

(2) ヒアリング調査概要

- 選定したヒアリング対象者に洋上風力発電事業関連のサプライチェーンへの参入に向けた課題などについてヒアリングを以下のとおり実施した。

ヒアリングテーマ	ヒアリング対象	ヒアリング実施日	ヒアリング内容
洋上風力を活用した電力地産地消事業	対象A	2024年12月19日（木）	<ul style="list-style-type: none"> 推進プロジェクトへの関心 推進プロジェクトへ参画を想定した場合の活用できそうな自社のシーズ 行政（国、県、市）に期待すること
洋上風力に係る地域産業振興事業	対象B	2025年1月15日（水）	<ul style="list-style-type: none"> 具体的に参画可能性のある、洋上風力発電事業の事業内容やフロー、数量等 洋上風力発電事業に参画するにあたって、課題・障壁、期待する支援や補助 市内の同業者ネットワークとしての対応方針・方向性や協会内の連携・協働の可能性 市内の将来的な産業振興や雇用創出を促進するための必要な取組
	対象C	2024年12月23日（月）	
	対象D	2024年12月25日（水）	
洋上風力に係る地域PR事業	対象A ※再掲	2024年12月19日（木）	<ul style="list-style-type: none"> 推進プロジェクトへの関心 推進プロジェクトへ参画を想定した場合の活用できそうな自社のシーズ 行政（国、県、市）に期待すること
	対象E	2025年1月17日（金）	
	対象F	2024年12月19日（木）	

2.関係者ヒアリング

(3) ヒアリング調査結果

- 「洋上風力を活用した電力地産地消事業」の実現（参画）の可能性について把握するため、「対象A」にヒアリングを行った。

洋上風力発電事業者 (対象A)

主なヒアリング内容	連携可能性	<ul style="list-style-type: none">洋上風力発電は他の再エネ電力に比べて高価格であるため、安定して買い取ってもらえる環境意識が高い事業者と協力しなければ、スキームの実現は難しい。公共施設における純水素型燃料電池の導入などの再エネ水素の利活用について、推進ニーズや需要があれば、方向性の1つになると考える。
	実施上の課題	<ul style="list-style-type: none">再エネ電力を安定的に購入するような体制を構築することが重要である。いちき串木野電力が買い取る価格で採算を見込むことができれば良い。もし市内で再エネ水素製造を行う場合は、水素事業に伴う企業の斡旋を行い、関連技術を保有する企業と協業することになる。行政から企業の誘致をしてほしいと依頼を受けるが、工場を建設できる場所がないため、依頼する場合は建設可能な場所の確保を行ってほしい。

2.関係者ヒアリング

- 「洋上風力に係る地域産業振興事業」の実現（参画）の可能性について把握するため、「対象B」、「対象C」、「対象D」にヒアリングを行った。

		建設事業者 (対象B)	電設事業者 (対象C)	風車メンテナンス事業者 (対象D)
主なヒアリング内容	連携可能性	<ul style="list-style-type: none"> 九州電力送配電の変電所や発電所で変電設備の基礎工事等の実績があり、施工やO&Mの対応が可能。 その他にケーブル敷設や資機材搬入も対応可能だと見込んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルの整備や高圧変電所の整備等を手掛けた経験があるため、参画可能である。 大手企業の参入もあると思うが、地元企業でもできることがあれば協力したい。 	<ul style="list-style-type: none"> O&M事業は十分な実績を有しているため参入可能。 未経験者を人材育成する体系が既に構築できているため、未経験の地元企業に対して、人材育成等の支援を行うことができる。
	実施上の課題	<ul style="list-style-type: none"> 設備投資等の補助や必要な資格取得の情報・支援などをしてもらいたい。 洋上風力発電事業は長期的になるため、若い人材を獲得する必要がある。 専門技術を習得できるような研修センターなどを設置し、地元人材の育成が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 大手企業の参入が見込まれるため、地元企業同士だけではなく、大手企業とも連携できるような支援も必要である。 参入が見込まれる事業者に向けた専門部会やワーキンググループによる情報共有。 合同会社や特別目的会社のような市が出資した体制構築。 	<ul style="list-style-type: none"> 地元企業は中小零細企業が多いため、既存業務においても人材が不足する中でO&M事業に新規参入できる企業は限られる。 メンテナンスを行う技術者の育成には時間を要する。



2.関係者ヒアリング

- 「洋上風力に係る地域PR事業」の実現（参画）の可能性について把握するため、「対象A」、「対象E」、「対象F」にヒアリングを行った。

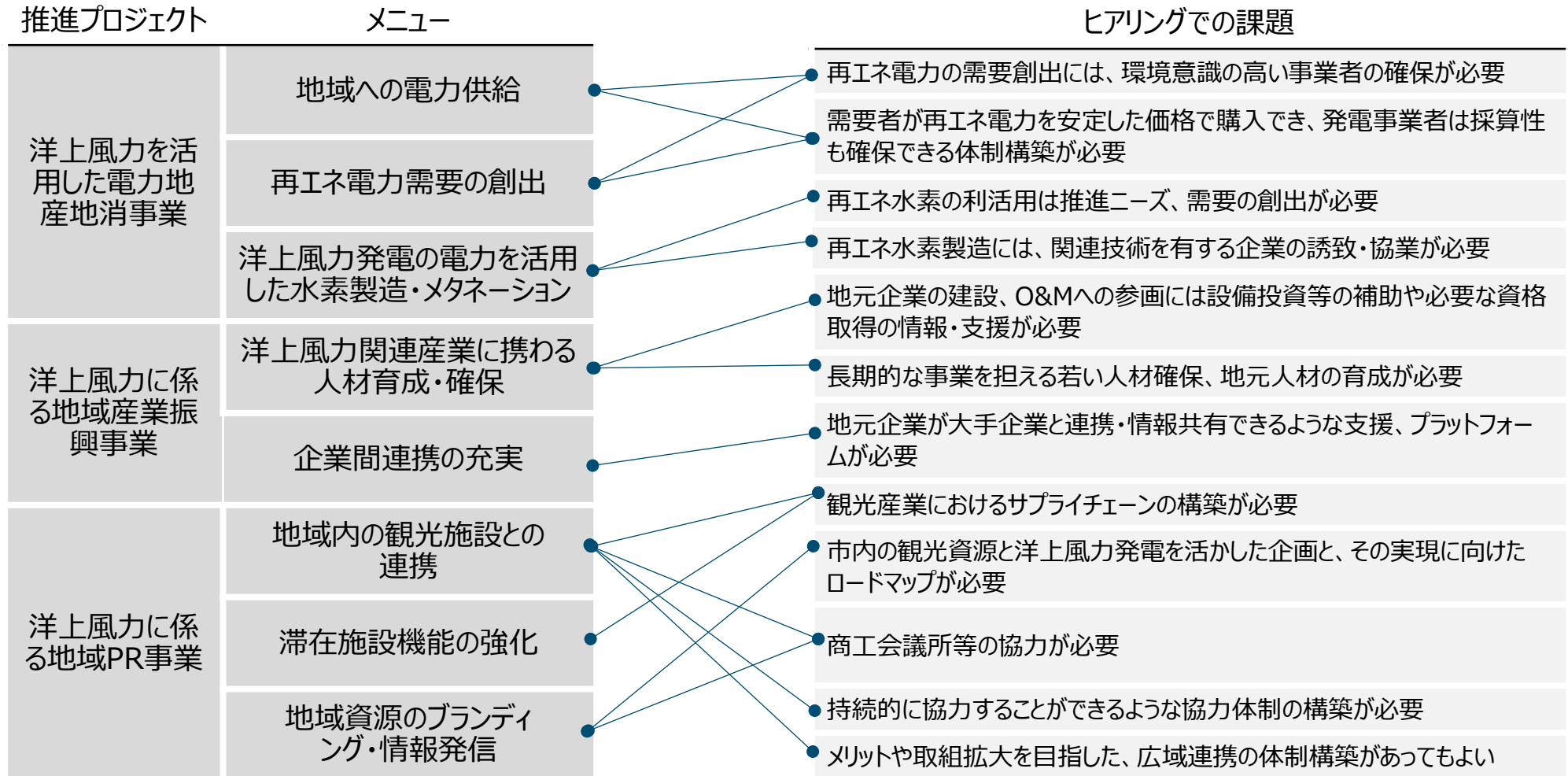
		洋上風力発電事業者 (対象A)	観光事業者 (対象E)	宿泊事業者 (対象F)
主なヒアリング内容	連携可能性	<ul style="list-style-type: none"> 地域振興への関連が少ないため関心は高くないが、地域が望むのならば地域PRなど最大限協力する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域振興のために重要であると理解しており、賛成の意向である。 市内の宿泊施設と連携した観光産業におけるサプライチェーンの構築や洋上風力の電力を活用した特産品のさつま揚げ製造の付加価値化 市内の観光資源を活かした企画を考えることで、市内で宿泊し観光スポットに立ち寄るようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 観光ツアーや周遊ツアーが確立することができれば良い。 市が外資系企業の工場を誘致し、洋上風力発電の部品を市内で製造することができれば、工場見学ツアーの実施による観光振興にもつながる。
	実施上の課題	<ul style="list-style-type: none"> 持続的に協力することができるようなグループをつくることで、市全体でスキームの実現を目指すことが重要である。 市が中心となり全ての対応を行うことは限界があるため、商工会議所等の協力が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 実現に向けたロードマップを作成し、事業者は何を準備していくべきか伝えることが必要。 後継者がいない事業者に対する観光特産品協会の支援が必要。 特産品の情報発信の場が限られているため、多様な手段を検討していく必要がある。 メリット享受の拡大に向けた隣接地域も含めた広域連携体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 現時点では景観が損なわれるデメリットを懸念する気持ちの方が大きい。 地域振興につながる事業を行う事業者に対しても、発電事業で拠出された基金などを活用した支援をしてもらいたい。



3.地域振興策メニュー（案）

ヒアリング結果を踏まえた地域振興策メニュー

- メニューごとにヒアリング結果で得られた課題を整理し、次頁以降のメニューの具体化検討を行った。



3.地域振興策メニュー（案）

地域振興策メニュー一覧

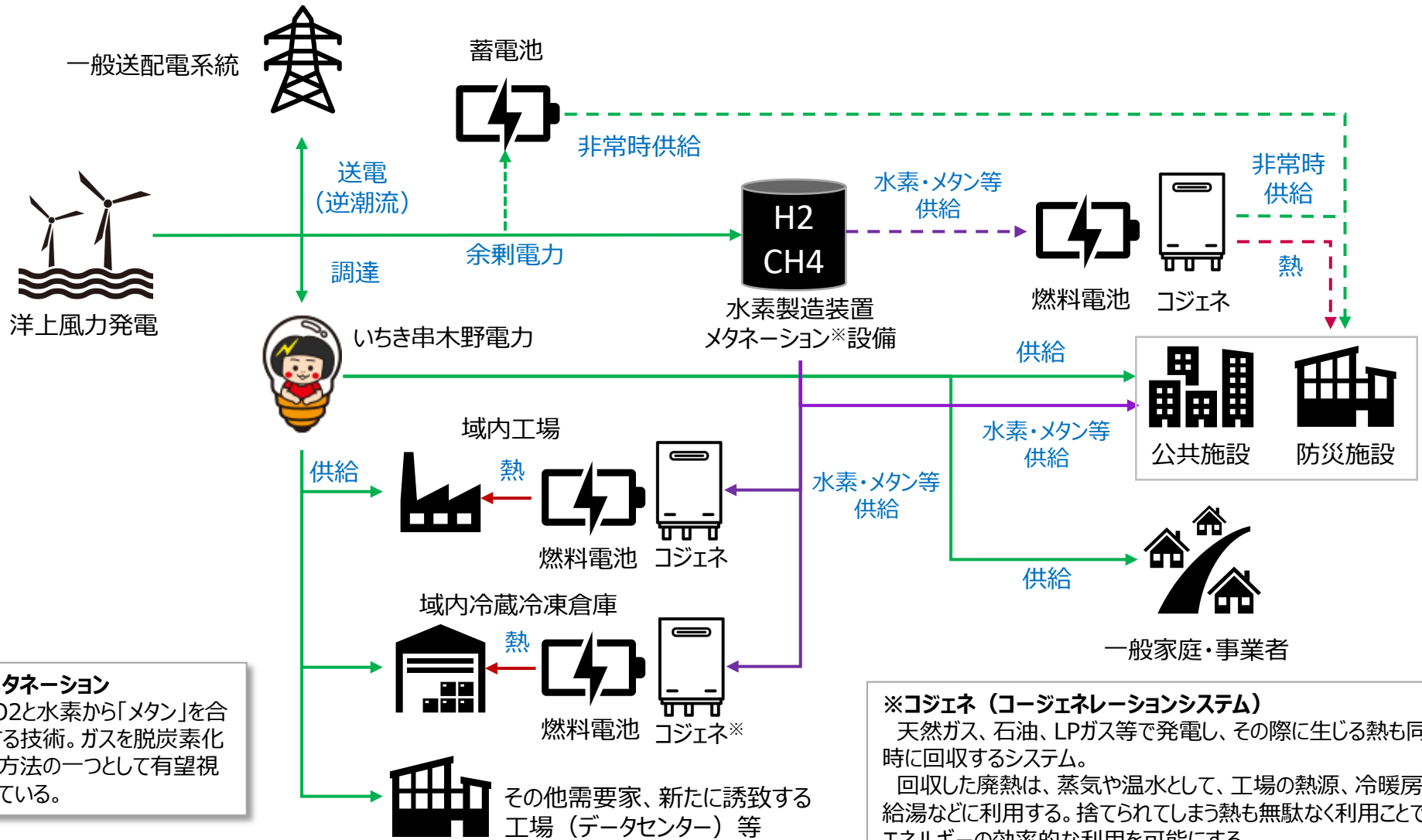
※本メニューは構想段階であり、確定したものではありません。

推進プロジェクト	メニュー	メニュー概要（青字：ヒアリング結果反映）
洋上風力を活用した電力地産地消事業	地域への電力供給	<ul style="list-style-type: none"> 洋上風力で発電される電気の市内及び周辺企業や地域住民へ供給する 災害時における地元へ電力供給する
	再エネ電力需要の創出	<ul style="list-style-type: none"> 再エネ電気の活用を希望する企業を誘致する 地域新電力と協働した市内企業の再生可能エネルギーの地産地消（RE100等）の後押し
	洋上風力発電の電力を活用した水素製造・メタネーション	<ul style="list-style-type: none"> 付近の冷蔵冷凍倉庫、工場へのメタネーションや水素利用の促進 公共施設（ごみ処理施設、給食センター等）へのメタネーションや水素利用の促進
洋上風力に係る地域産業振興事業	洋上風力関連産業に携わる人材育成・確保	<ul style="list-style-type: none"> 風力発電メンテナンス技術者養成に向けた研修会・出前講座の開催 風力発電メンテナンス訓練施設の整備 風力発電メンテナンス等関連資格取得への支援
	企業間連携の充実	<ul style="list-style-type: none"> 地域産業振興に向けた、コンソーシアムの設置による地域企業間交流を図る 洋上風力関連事業者との商談機会を創出する 大手建設企業等の開発ニーズと地域企業の技術とのマッチング機会を設ける
洋上風力に係る地域PR事業	地域内の観光施設との連携	<ul style="list-style-type: none"> 洋上風力発電設備及び関連産業の観光ツアーを開発する 周辺地域連携機能（他市施設との連携による相乗効果発揮等）を強化する
	滞在施設機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> 中長期滞在が可能な設備の充実を図る 発信や交流の拠点となるビクターセンターを整備する 観光客の受入れ環境の充実（駐車場、トイレ等）を図る
	地域資源のブランディング・情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 市内水産物加工業者等と協力した市特産品の付加価値向上 域内のコンテンツの魅力等に関する効果的な情報発信

3.地域振興策メニュー（案）「洋上風力を活用した電力地産地消事業」

事業スキームイメージ

「洋上風力を活用した電力地産地消事業」についてスキーム図として整理した。



※メタネーション
CO₂と水素から「メタン」を合成する技術。ガスを脱炭素化する方法の一つとして有望視されている。

※コジェネ（コージェネレーションシステム）
天然ガス、石油、LPガス等で発電し、その際に生じる熱も同時に回収するシステム。
回収した廃熱は、蒸気や温水として、工場の熱源、冷暖房・給湯などに利用する。捨てられてしまう熱も無駄なく利用することで、エネルギーの効率的な利用を可能にする。

3.地域振興策メニュー（案）「洋上風力を活用した電力地産地消事業」



※本メニューは構想段階であり、確定したものではありません。

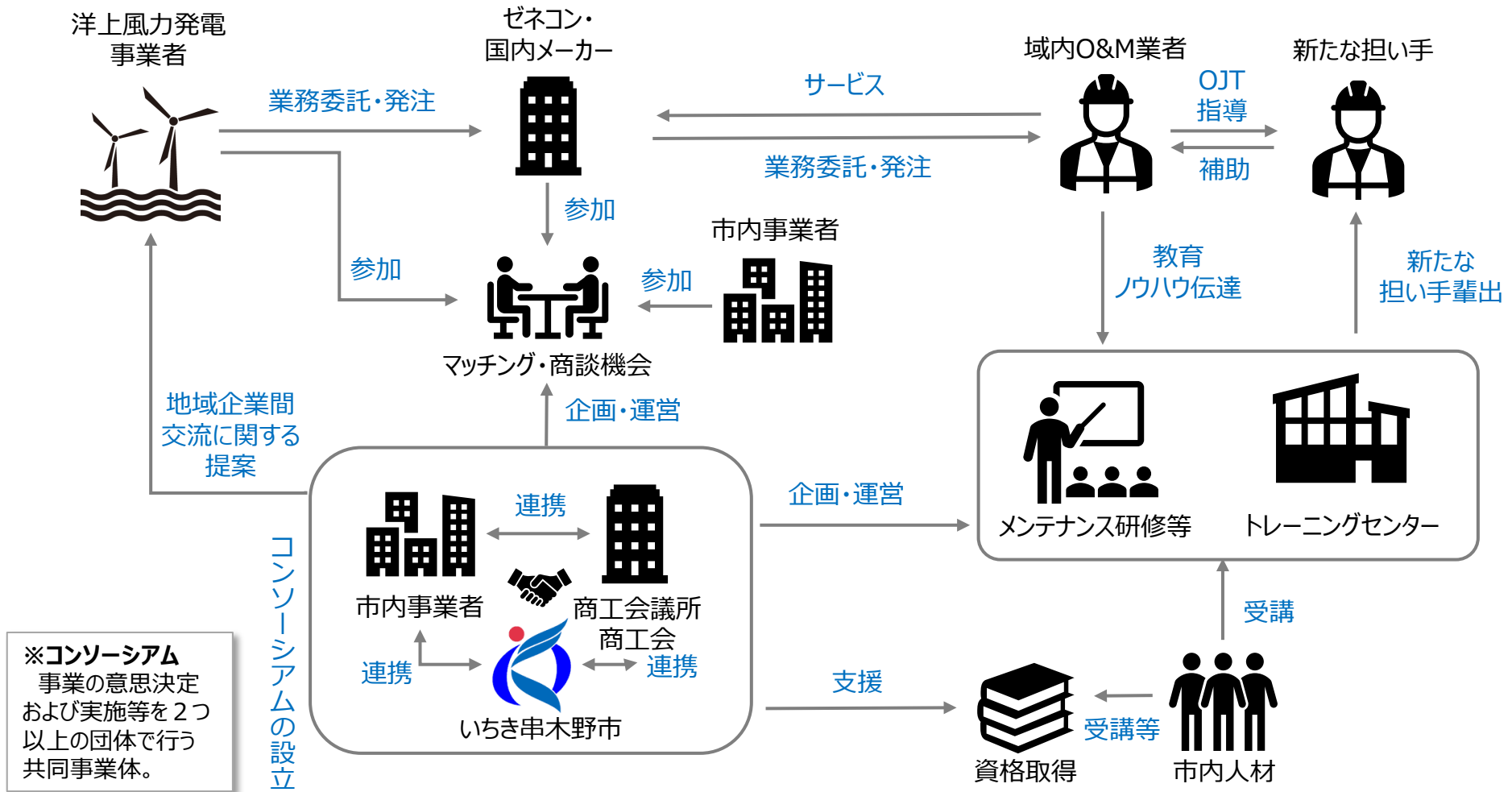
事業概要 「洋上風力を活用した電力地産地消事業」の事業案を示す。

メニュー	事業概要	事業案	役割分担			
			市	発電事業者	地域新電力	民間事業者
地域への電力供給	洋上風力で発電される電気の市内及び周辺企業や地域住民へ供給する	洋上風力発電による電力の地産地消可能性調査	●	●	●	
		調整力（蓄電池等）・需要家の確保	●		●	●
		地域関係者への説明・周知への協力	●			
		電力供給システムの設計・構築		●	●	
	災害時における地元へ電力供給する	防災機能が必要な施設の選定に向けた検討	●	●	●	
		防災に資する蓄電池の整備	●			
電力供給システムの設計・構築		●	●	●		
再エネ電力需要の創出	再エネ電気の活用を希望する企業を誘致する	事業採算性等の可能性調査	●			
		立地候補企業の発掘（誘致活動）	●			
		用地買収、造成、土地分譲	●			●
	市内企業の再生可能エネルギーの地産地消（RE100）の後押し	セミナー・ワークショップ、相談会による理解醸成	●			
		RE100メニューの提供		●	●	
洋上風力発電の電力を活用した水素製造・メタネーション	付近の冷蔵冷凍倉庫、工場へのメタネーションや水素利用の促進	水素エネルギーの利用形態や需要量調査検討	●			●
		水素需要の創出	●	●		
		燃料電池やガスコジェネ等の受入設備の導入支援	●			
	公共施設へのメタネーションや水素利用の促進	防災機能が必要な施設の選定に向けた検討	●	●		
		燃料電池やガスコジェネ等の受入設備の導入	●			

3.地域振興策メニュー（案）「洋上風力に係る地域産業振興事業」

事業スキームイメージ

「洋上風力に係る地域産業振興事業」についてスキーム図として整理した。



※コンソーシアム
事業の意思決定
および実施等を2つ
以上の団体で行う
共同事業体。

3.地域振興策メニュー（案）「洋上風力に係る地域産業振興事業」

事業概要 「洋上風力に係る地域産業振興事業」の事業案を示す。

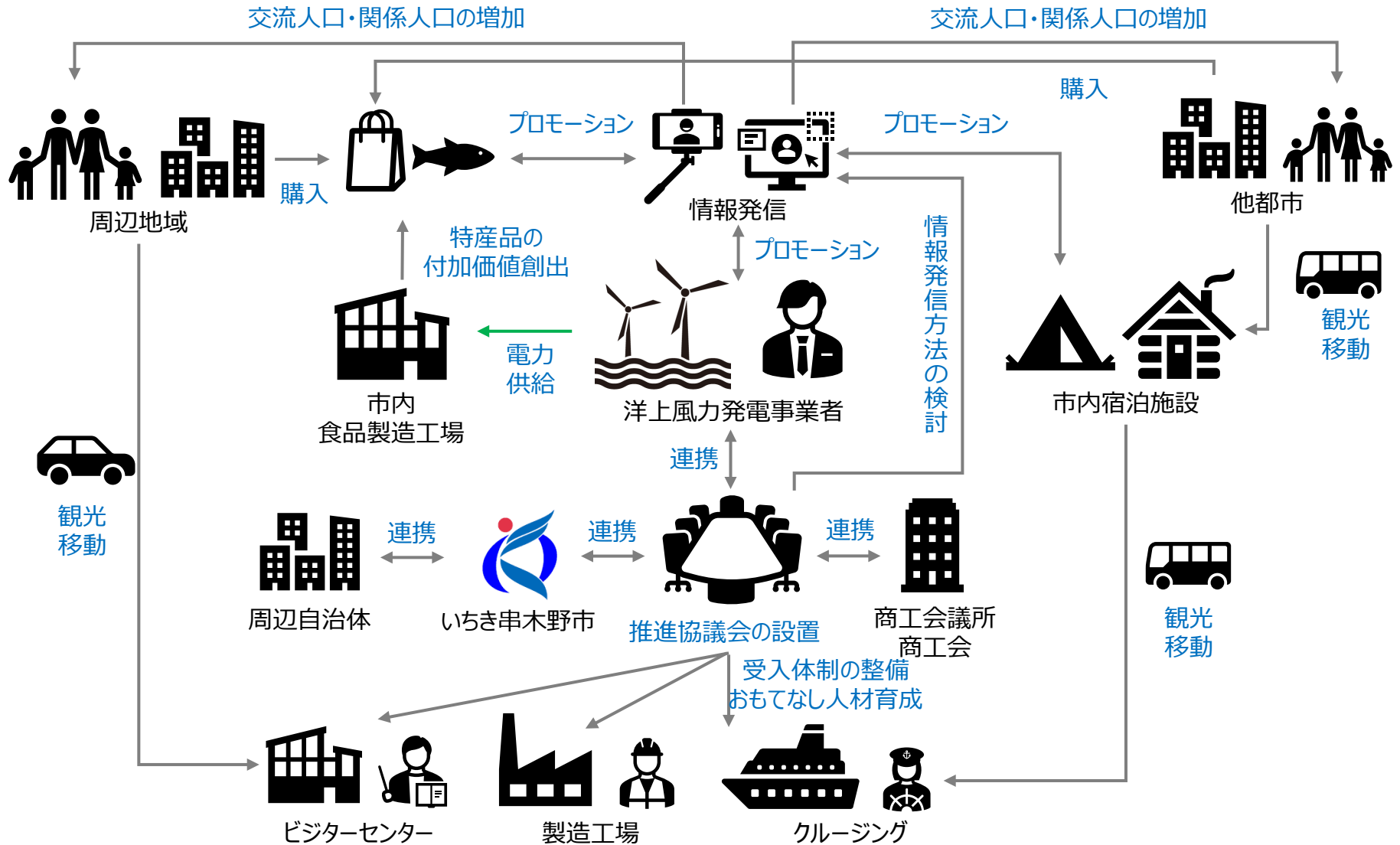
※本メニューは構想段階であり、確定したものではありません。

メニュー	事業概要	事業案	役割分担			
			市	発電事業者	O&M事業者	その他事業者
洋上風力 関連産業 に携わる人 材育成・確 保	風力発電メンテナンス技術者養成 に向けた研修会・出前講座の開催	実施体制の検討	●		●	
		研修会・講座メニュー・テーマの検討	●		●	●
		市内事業者に向けた周知・啓発の実施	●			
	風力発電メンテナンス訓練施設の 整備	整備基本構想の検討	●	●	●	
		用地の確保	●			
		施設の設計・工事		●	●	●
	風力発電メンテナンス等関連資格 取得への支援	資格の取得に係る費用の助成	●			
メンテナンス訓練施設の研修費用の助成		●				
企業間連 携の充実	地域産業振興に向けた、コンソーシ アムの設置による地域企業間交流	コンソーシアムの設立に向けた検討・準備	●			●
		参加依頼・希望による体制構築	●		●	●
		コンソーシアムの活動計画の作成			●	●
	洋上風力関連事業者との商談機 会を創出する	セミナーの企画・立案		●		●
		セミナーの開催		●		●
		参入に向けたソフト面等の支援		●		●
	大手建設企業等の開発ニーズと地 域企業の技術とのマッチング機会創 出	マッチングイベントの企画・立案	●	●		●
		マッチングイベントの開催	●	●		●
		参入に向けたソフト面等の支援		●		●

3.地域振興策メニュー（案）「洋上風力に係る地域PR事業」

事業スキームイメージ

「洋上風力に係る地域PR事業」についてスキーム図として整理した。





3.地域振興策メニュー（案）「洋上風力に係る地域PR事業」

事業概要 「洋上風力に係る地域PR事業」の事業案を示す。

※本メニューは構想段階であり、確定したものではありません。

メニュー	事業概要	事業案	役割分担				
			市	発電事業者	市内事業者	周辺自治体	
地域内の観光施設との連携	洋上風力発電設備及び関連産業の観光ツアーを開発する	洋上風力発電を活用した地域振興に向けた推進協議会の実施体制の検討・設立	●		●	●	
		新たな観光ルートなどの開設に向けた検討・調整		●	●		
	周辺地域連携機能を強化する	推進協議会による事業者や周辺市町村等との意見交換	●		●	●	
		周辺市町村と連携した誘客プロモーションの実施	●			●	
滞在施設機能の強化	中長期滞在が可能な設備の充実を図る	既存の観光資源を活用した付加価値の高いツーリズムの制作・配給			●		
		宿泊施設の利便性や品質向上推進			●		
		ワーケーション等の各コンテンツの拠点整備			●		
		ビジターセンター整備		●	●		
	観光客の受入れ環境の充実を図る	観光二次交通の利便性向上	●		●	●	
		まちなかの周遊機能の強化（トイレ、wi-fi、パンフ等）	●		●		
		おもてなし人材の育成			●		
	地域資源のブランディング・情報発信	市内水産物加工業者等と協力した市特産品の付加価値向上	生産ラインを脱炭素化することによる付加価値の向上	●	●	●	
			特産品のPR・ブランディング活動	●		●	
		域内のコンテンツの魅力等に関する効果的な情報発信	推進協議会による事業者や周辺市町村等との意見交換	●		●	●
WEB・SNSを活用した効果的な情報発信			●				